

# 統計グラフコンクール ポスター作品の作り方

## 1 テーマ(主題)を決めましょう！

どういう目的で、どういうことを表したいかを決めましょう。  
これから作る統計グラフで、あなたは何を伝えたいと思っていますか。

グラフのテーマとしては・・・

- (1) 現在話題になっていること（自然災害、環境問題、食料問題など）
- (2) 自分の興味のあること、好きなこと、人に訴えたいこと（スポーツ、趣味、将来の夢など）

◆コンクールのテーマは自由です。

ただし、小学4年生以下の児童は、自ら観察や調査した結果をグラフにしたものとしてください。

◆知りたい、調べてみたいと思うことが大切です。それがグラフ作りの第一歩になります。

## 2 決めたテーマについて調べましょう！

調べる方法には、次のようなものが考えられます。

- (1) 自分でアンケートをとったり、観察したりする。
- (2) 本や雑誌、新聞、インターネットなどで調べる。
- (3) 図書館なども利用しましょう。

## 3 調べたことを整理しましょう！

A4用紙等に調べたことを整理しましょう。この用紙は作品の取材資料になります。

- (1) アンケート、観察の場合
  - ・調べた時期（年月日や期間など）
  - ・対象者・対象物（クラスの人、家族、通行人、自然のもの、車など）
  - ・対象の数（何人、いくつなど）
  - ・調査方法（アンケート用紙の配り方、観察の仕方など）
- (2) 本や雑誌、新聞、インターネットなどの場合
  - ・資料名（本の名前や調査名、インターネットの場合はアドレスなど）
  - ・調査年度、調査日など（その資料は、いつごろに調べられたものなのか）

◆本や新聞に載っているグラフも観察すると、何を書けばよいか参考になるでしょう。

◆データをそのままグラフに表すと伝わりにくい場合があります。必要に応じてデータを平均、比率、構成比などに加工してみましょう。

## 4 タイトル、見出しを考えましょう！

タイトルや見出しは、作品の中で一番目立つ部分です。

タイトルや見出しを決めるときは、グラフの内容や問題点をはっきりと表現し、しかも見る人の興味を引くようなものを考えましょう。

- (1) 字数を工夫する
  - <リズムカルな表現>  
「大切に！早寝 早起き 朝ごはん」
  - <五七調（俳句や短歌のように五文字と七文字を組み合わせる）>  
「がんばろう 自分のための 勉強を！」
  - <副題をつける（長くなりそうときや、効果的に訴えたいときに）>  
「ストップ！地球温暖化～守ろう私たちの地球～」
- (2) 言葉の技法
  - <呼びかけ>  
「おとうさん おかあさん もっとたくさん会話をしよう！」
  - <疑問型>  
「習いごとしていますか？」

<倒置法>

「なくそう！交通事故!!」

◆広告、ポスターのキャッチコピーや新聞記事の見出しを観察してみると、参考になるでしょう。

## 5 グラフの種類を決めましょう！

あなたが調べたことを表現するのに、ふさわしいグラフは何でしょうか？

自分の調べたデータの特性を考えて、その内容にふさわしいグラフを選びましょう。

- (1) 棒グラフ … 棒の高さで、量の大小を比較する。
- (2) 折れ線グラフ … 量が増えているか減っているか、変化の方向をみる。
- (3) 円グラフ … 全体の中での構成比をみる。 など

## 6 構図、レイアウトを考えましょう！

用紙の中にどこにどれくらいの大きさで、見出しやグラフを配置するのかを考えましょう。

次の点を参考にして、分かりやすく楽しいグラフになるように工夫してみてください。

- (1) 強調したいところを目立たせる。  
特に見てもらいたいところ、メインとなるグラフや文字は大きく、目立つようにしましょう。
- (2) 見る人の視線を導く。  
横書きのものは左から、縦書きのものは右から書くという決まりがあります。  
また、広告のチラシなどは、左上から右上、左下、右下と自然と見ていく流れがあるようです。  
特に見せたい順序があれば、番号をつけ、矢印で誘導してみましょう。
- (3) イラストを入れる。  
イラストを入れるとイメージしやすくなり、親しみを感じます。

◆ほかの人が作成したイラストや写真、新聞の切り抜き等は使用しないでください。また、生成AI（人工知能）を利用して制作した作品は認めません。 自作のもので未発表のものに限ります。

## 7 下書きをしましょう！

用紙にグラフを書きますが、まずは下書きをしましょう。

下書きをすると、頭の中に思い描いたイメージが現実近づきます。

色の使い方などを考えながら下書きをしてみましょう。

◆用紙の規格はB2判（72.8 cm×51.5 cm）です。※余白であってもB2判を超えると規格外として、審査の対象外となりますのでご注意ください。

◆文字や目盛、単位、凡例などに誤りはありませんか？

◆調査名や調査年月日、資料の出所などに記入漏れはありませんか？

◆家族や先生など周りの人にも見てもらい、意見を聞いてみましょう。

## 8 仕上げをしましょう！

下書きしたものに色ぬりなどをして、作品を完成させましょう。

色彩によって、作品のイメージは大きく変わります。

切紙や折紙をのり付けした場合、はがれ落ちることがないように点検し、丁寧に美しく仕上げましょう。

◆数値やグラフに誤りがないか、誤字脱字はないか、最後にもう一度チェックをしましょう。

**作品の応募にあたっては、統計グラフコンクール作品募集要領をよく確認し、不備がないようにしましょう。**

【参考】統計について、幅広く学ぶことができます。

統計学習サイト（総務省統計局）

・「なるほど統計学園」

<https://www.stat.go.jp/naruhodo/>

・「キッズすたっと」-小中学生向け-

<https://dashboard.e-stat.go.jp/kids/>

・「データサイエンス・スクール」

<https://www.stat.go.jp/dss/index.html>